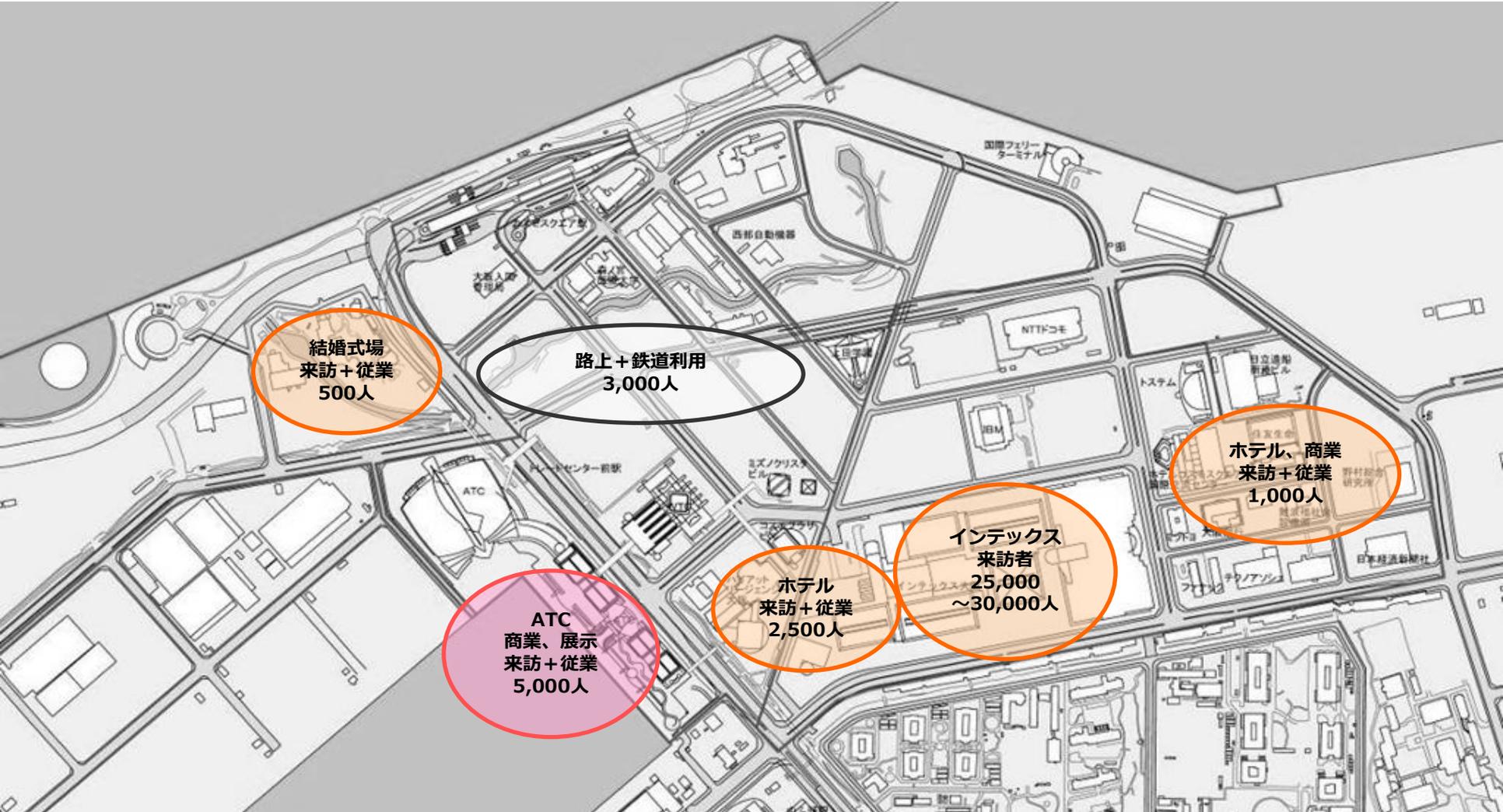
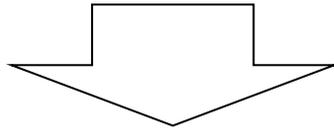


滞留人口(休日昼間)

休日の滞在人口 42,000人



ライフラインや交通が遮断され一時的に利用できなくなり、孤立する可能性



まずは、一日一晩、地域で安全を確保する体制をつくる。

- 各建築物で滞在者等が留まることができる空間確保と地域の体制整備を行う。
- 当地区では平日と休日の滞在者の特性が異なるので、それぞれ対応できる環境を整える。
- 各施設は、それぞれの従業員・来訪者を、それぞれの施設内に留まらせることに取り組み、公民で相互連携を図る。

○ 地域の体制整備

災害発生～交通機能回復までの応急対応活動を地域で担う組織として、災害対策本部、救護班を組成し各施設管理者の連携により事務を実施する体制の整備を図る

○ 情報共有、退避施設(大規模集客施設等)の運用などの対策マニュアル整備

○ 施設管理者が連携した防災訓練(図上訓練など)等の実施

○ 日常からの退避場所の施設管理

○ その他

バスなどの鉄道代替手段について確保